

白浜レスキューネットワーク通信 9月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

http://srnw.or.jp

e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

9月1日～9月30日

電話件数 230件

メール相談 4人

保護件数 2件(男性1名、女性1名)

帰宅件数 1件(男性1名)

○1日、一人の男性を保護。家を出て2日経っていた。高校生の娘が捜索願を出していた。職場の上司が翌日迎えに来て帰ることになった。

生活自立支援活動

8月1日～8月31日

滞在者数 11人(男性9人、女性2人)

自立件数 4件(男性3名、女性1名)

自主退所 1件(男性1名)

○1日に保護した女性は、23日、住み込みの仕事を見つけて引っ越すことになった。LINEがつながっているの、安定するまで関わられたらと思っている。

○コンビニとまちなかキッチンで働く20代女性は、コンビニのオーナーから頼りになってきたという話を聞いた。仕事場では頑張っているそのがんばりを、プライベートな時間にも広げていけたら、さらに成長できそうだ。

○デイサービスに週3回行き、ヘルパーがほぼ毎日入っている80歳の男性は、パーキンソン病の薬を飲み始めたことで、手足の震えが治まってきた。また、食事の準備など、できることあ自分でしてもらうことで、動きもしっかりしてきた。ケアも大切だが、できるだけ自分でさせることの重要性を感じている。

○コンビニとまちなかキッチンで働いている30代男性は、バスの運転手を目指すとして動き出した。コンビニにも辞める旨を伝えたよう

だ。相談が抜けていると指摘し、軽はずみな行動を避け、就職が決まるまでの動きに慎重さを求めた。

○糖尿病を患っている男性は、まちなかキッチンで働く人の外への就職が一気に進む中、人手不足になるのではと考え、自分の就職活動を控えていたようだ。気遣ってくれる気持ちは本当にありがたいが、そんな気は遣わなくてもいいことを伝えた。

○豆腐屋とまちなかキッチンと新聞夕刊配達と3つ掛け持ちしている男性は、老後のことも考えて、共同生活からの自立を決めた。アパート選びが始まった。

○まちなかキッチンとホテルでの仕事を両立させたいと思っていた男性は、飲食店の夜のバイトの面接を受けたが、今回は女性が欲しかったと断られた。

○言葉に気を付けている男性は、自分と同じ失敗をする人を思いやる気持ちがある。そして、絶対にできなかったことができるようになると励ましている。

○昨年4月から共同生活に加わっている男性は、10月には塾で働きたいという希望があり、9月14日に共同生活を出た。こちらに来るまで滞納していた税金や借金は、共同生活中にすべて完済させることができた。

○2月から共同生活に加わった男性は、アパートの問題に決着がつけられず、アパートに戻る決心をした。8月の年金で借金は完済し、11月からは住み込みの仕事も決まっている。アパートの問題を整理して、共同生活に戻ってきたいと話している。連絡を取り合っていこうと思う。

○まちなかキッチン総菜部門での仕事を始めた女性は、心の状態は一進一退を続けている。

人との関わりの中では笑顔があったりするが、一人になると落ち込むようだ。

○他のNPOから移ってきた男性は、26日、引っ越し先のグループホームに荷物を運んだ。10月から毎週木曜日にバイオリンの練習のために教会に来ることになった。毎週会えるのは関係を続けていくうえで助けになると思う。

○7月初めから共同生活に加わっている男性は、まちなかキッチンでの一時間で済む仕事を任せ始めた。洗い物や配達だ。少しずつ広げて行けたらと思っている。空き時間には必ず掃除や片付け、草引きなどを行っている。

○8月5日に保護した一人の男性は、就職活動を始めた。

○20代の男性は、8日、アパートへと引っ越した。まちなかキッチンの仕事をつづけながら、自活していくことになった。

○5月から滞在している男性は、整形など検査をいくつか受けたが、異常は見つからなかった。筋力の低下と前向きになれない精神的なものが体に症状としてでているのではないかと臨床心理士や整体の先生からもアドバイスをもらった。三食ちゃんと食べることで、無理のない程度に歩く事など頑張らせようと思う。

自殺予防活動

・相談電話

4日、11日、18日、25日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・フードバンク、フードドライブ

地域のグルメシティ各店から食材の提供を受ける。近所の女性へ、週3回の無料弁当の配布が始まった。

・少年少女漂流隊

24日、白浜第一小学校のクラブ活動に出前事業を行った。



タピオカ作りと防災グッズ作りをしました。

・はじめ人間自然塾



秘密基地の床を作りを行った。SEEKキャンプに来た子供たちや新しく来た子供たちもいて、関係が広がっていく可能性をととても感じる時となった。

・CSコペルくん

今月は、5年生の子どもたちの出席率が落ちた。5年生、6年生が参加する陸上競技大会の練習もあり、学校からの帰りがずいぶん遅いようだ。

・童謡、唱歌の時間

共同生活しているお年寄りのために、童謡と唱歌を歌う時間を毎週金曜日の夕方に持っている。歌の合間に、懐かしい思い出などの話が、それぞれから出でてくる時間ともなっている。

・ライフライン(クリスチャン番組)の取材を受けた。

11月ごろ、放送予定。

・中外日報社の取材を受けた。

12月ごろ何回かに分けて連載される予定。